

コロナに負けず頑張っています！

今年度、支援学校の卒業生が仲間になりました。コロナにほんろうされつつも奮闘する津山線が大好きなT.Tさん。通所を開始して早3か月、わくわく！での作業についてインタビューをしました。



- ① お仕事はどんな感じですか？
楽しいです。
- ② お仕事は「好き」「嫌い」どんなですか？
好きです。
- ③ どんなお仕事が好きですか？
タオルたたみが好きです。
- ④ 大変だなーと思う時はどんな時ですか？
新聞折りで、ページ数が多く折るのが大変な時があります。
- ⑤ 休憩時間はどんな風に過ごされていますか？
好きな音楽を聴いて楽しいです。
- ⑥ お気に入りの曲は何ですか？
“僕と私の仲よしソング”です。
- ⑦ お給料はどんなことに使われていますか？
津山線に乗るのに使いました。
津山に着いてお弁当を買います。
次のお給料でも津山線に乗ります。



第62号
発行
社会福祉法人 結い
〒703 8255
阿山市中区東川原18-1 203
TEL 086 206 7385
FAX 086 206 2801
発行責任者
前田 勝子

結い だより

2019年に広がった新型コロナウイルス感染症の収束のめどが見えず、会員の皆さま方も感染予防に向け毎日大変な日々を送っていることと思います。

当法人でも第4波の波を受け4月末から5月にかけて職員2名利用者1名、利用者の濃厚接触が発生し、接触したと思われる職員・利用者の皆様には自宅待機・PCR検査等と、ご協力をいただきました。PCR検査は全員の陰性が判明し、2次感染者を発生させずにすむことができ胸をなでおろしたところです。この2次感染の予防は職員だけでは防げることができず、手洗い・マスクの着用・ソーシャルディスタンス等利用者・ご家族の方々のご協力が得られているからこそだと感謝しております。

新型コロナウイルス感染症発症者の報告と対応について

なり運営ができなくなる状況が考えられます。そのため接する職員・利用者を決めていく必要があり、今までは曜日に応じて洗濯作業や宅配弁当の仕事にチャレンジしてもらえていたのですが、職員・作業場を固定し運営しております。チャレンジしたいときに、いつでも無理なく従事できるように1日も早いコロナ感染症の終息を願っております。



ワークハウス・わくわく！
に来て感じたこと

ワークハウス・わくわく！
生活支援員 A・K

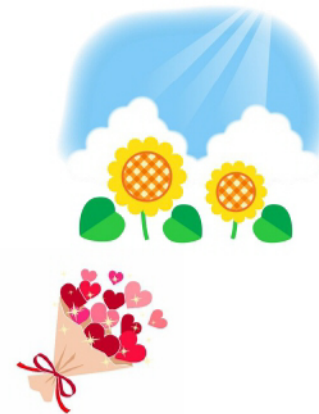
ワークハウス・わくわく！の支援員として働き始めてもうすぐ2回目の夏を迎えます。前職はA型事業所で木工の作業をしていました。

B型事業所での仕事はわくわくが初めてで、当初の印象はメンバーさんに付きつきり支援していく

イメージを持っていました。しかし実際に作業に入ってみると、とても自立度が高く何年も作業されており、職員と変わらないほどの作業ができる方も多く、とても驚きました。私より、よく作業を理解していただけるメンバーさんに一体何を支援したらよいのか？戸惑いもしました。

あれから一年半が過ぎ、少しずつメンバーさんと日常的な会話や悩み相談を受ける機会も増え、メンバーさんたちが私自身を成長させてくださっているように実感しています。まだまだ会話の中などで分からない言葉や単語が出てくると、教えてもらったり調べたりと悪戦苦闘しております。

日々勉強「日々成長」を motto に、これからもメンバーさんと共に作業をしながら成長できる支援員になっていきたいと思っております。



結い後援会への新規加入と継続のお願い

私達は、障害を持って生きていかなければならない人々へ、温かい行政と財政支援を要求するべく、今後も努力し続けます。しかし、私達の力だけでは微々たるものです。ぜひ「結い」後援会にご加入いただき、私達の活動を支えてくださいますようお願い致します。

また、2020年度分の会費未納の方につきましては、継続してご協力いただけますように何卒よろしくお願い申し上げます。

<振込先> 郵便振込口座 01360-0-57757
社会福祉法人「結い」後援会
(個人:年1口 千円 団体:年1口 3千円)



2020年度事業報告

ワークハウスわくわく！



4月から6月については、緊急事態宣言が発令により通所者数が減少しましたが、夏以降は回復し前年度と同水準まで戻りました。

来所者数が戻ってきた理由

未経験の事態に直面し、不安な気持ちや話を聞いてほしいという声に「一緒にいたい」という働く以外の理由へと変化し、多くの利用者が短時間働く、あるいは顔を出すようになりました。

今年度は職員の退職がなく、定期的な職場会議や勉強会で利用者支援を学んだことなどが、通所への安心感につながったと思われます。

在宅勤務の導入

現在一名が従事しています。仕事はしたいが、コロナ感染が心配という方向けに働き方の選択肢として在宅勤務体制を整えました。



軽作業



2020年度4月・5月の特注減を夏場以降で回復させ、予算対比103%となりました。しかし先にも触れたように、わくわく！の利用者さんの思いは働く

ことより、相談に向きました。結果、働く時間数は2020年度に比べ落ち込みました。工賃自体は夏季賞与(270,000円)や、冬末年始の特別手当の支給などで前年度水準は保つことができました。働くことへの意欲が持てるような仕組みを再構成すること、利用者が抜ける間現場をカバーする職員が利用者との対話の時間をどのように確保していくかが課題となりました。

Yショップ

6月に入院者一名が出て以降、少ない利用者で業務を回すため、見直しとスリム化を図りました。仕入れが減ることで、発注、日々の在庫確認、棚卸すべての時間を短縮、従事人数も減らすことができました。

夏場の猛暑と新型コロナの心配をしながら出勤し続けることは大変で、次第に利用者より休みを要望する声が上がりました。そこで軽作業に従事していた非常勤職員3名を交代でYショップへと配置を見直し、店舗・宅配と二つの販路を強化、事業所全体でYショップの体制づくりと、

相談支援事業報告

- ①事業内容
2020年度
モニタリング件数 55件
- ②利用者
2021年3月31日現在
登録者数 34名



仕入れの仕組みを見直し、配達部門を導入しました。新たな利用者の挑戦のきっかけへとつなげていきたいと思っています。



喜 楽



2020年度一日平均通所者数は、前年度より1.4人少ない8.9名の利用でした。

5月からは支援に専任した職員を配置し、新規受け入れ体制を整えました。

支援専任職員を配置したことにより、これまで仕事に入れずにいた層の利用者の方が通所し、短時間の軽作業に無理のないところから入れるようになりまし。直接仕事で関わらない第三者的視点からのアドバイスにメンバーから嬉しい声も上がっています。

次年度以降も学ぶ場や土台となる人とのつながり・生活の基礎固め

など意欲的に取り組むこととし、休みがちだったメンバーの利用増にもつながりました。また、一般就労していたが離職し、再就職に向けて再度求職活動支援を望まれる利用者がありました。

また、コロナウイルス流行により喫茶運営は昨年の5月から中止になり、喫茶にて就労のメンバー2名は就労の場をわくわく！への移籍となりました。

利用者工賃

今年度の平均工賃月額額は2万円を切る形になったが、次年度は、現在の時給150円スタートのままがいいのかなど検討を行っていき、平均工賃月額2万円以上を目標数値としたいと思っています。



個人向け宅配の需要増加と ウィズコロナ時代の販売戦略！

宅配弁当屋喜楽

コロナウイルス流行による大口会議食の中止・喫茶部門の中止などがあり、年間約200万円の減収となりました。

外食に出る機会が減っていることを好機に「おうちDEごちそう」と銘打って月替わりの特別食の販売を8月より開始し、下半期に月50食の販売ができるようになりました。

また、12月にはひとり用おせち単価5400円を販売し約20万円の売上げがありました。



9マス弁当 販売中



※農マルさん直市場 岡山店
岡山市中区さい147-4

※農マル園芸あかいわ農園
赤磐市上市175-1

右記、二店舗にて販売しております。



更に、新たに(有)アグリ元気岡山様との委託販売契約が開始され、研修等に食品表示の知識の習得・対応ができるようになりました。

